

平成30年 3月31日  
東京都立清瀬高等学校長  
藤原 政広

## 平成29年度 東京都立清瀬高等学校 経営報告

### 1 今年度の取組と今後の課題

#### ①学習活動

- ア 教科会を活用し、担当者間での共通理解を図り、内容・指導レベル等についても質・量とも適切な授業を提供できた。定期考査においてすべての教科で共通問題による考査の実施ができなかったことは課題である。
- イ 「学力スタンダード」に対応した年間授業計画を作成し、それに基づいた指導と評価により、指導内容の改善が図れた。
- ウ 「清瀬タイム」という午後8時から午後10時までの家庭学習時間を設定し、家庭学習の習慣化と土曜講習等を活用して生徒の基礎学力の定着を図った。家庭学習時間の確保は、来年度以降も継続的な課題である。
- エ 土曜授業18回、土曜講習13回実施し、生徒の学習時間を確保し、学力向上に努めた。特に、学年末考査後の土曜講習においては、特別講習と位置づけ、当該年度の学習を補う講座を設定するとともに、次年度の授業を円滑に進めていく準備を行った。夏期講習は65講座（昨年度58）と7講座増加した。今後も、生徒が必要とする講習の内容や時期などを精査し、3年間を見通した講習計画を立てることが必要である。
- オ 6月から平日と土曜日、定期考査直前の放課後に大学生による学習支援のチューターを配置した。定期考査直前は、利用生徒も多く一定の成果が上げられた。次年度に向け、生徒が利用しやすい時間帯に継続的配置し、生徒の学習習慣を定着させる取り組みをさらに進めることが必要である。
- カ 英数国の習熟度別授業を実施し、指導効果の向上を図れた。時間割上は制約もあるが、学力幅が大きい本校の生徒集団には必要かつ有効な方策である。
- キ 若手教員の研究授業を多くの教員が見学し、また、教員相互授業見学も前年度比18%増のべ231回実施したことで、学校全体の授業力向上に寄与した。河合塾の英語講師を招き3年生の希望者（51名）に対してセンター試験対策英語講座を開講し、教員の研修にも活用できた。
- ク オリンピック・パラリンピック教育推進のため、水泳パラリンピック日本代表の小山恭輔氏（本校31期生）による講演会を実施した。海外の学校等との交流は来年度の課題である。

#### ②進路指導

- ア 大学進学実績としては、GMARCH以上の現役合格者数が76名（前年度87名）に留まった。進路指導部が主体となり、組織的な進路指導の充実を図ることが課題である。
- イ 「清瀬の進路指導」と言えるものを構築中であり、今年度の反省を踏まえ、一層の改善が必要である。
- ウ 1学年において模擬試験の返却と解説を学年全体で行った。これは来年度以降も各学年に定着させていくことと模擬試験の振り返りをさせていくことが課題である。
- エ 7月、1年生全員がオープンキャンパスへの参加と国公立大学に対する意識を高めるための講演により、早い段階から大学進学に対する意識を高めることができた。生徒の進路に対するモチベーションを維持し、日常の学校生活や家庭学習につなげていくことが必要である。

#### ③生活指導

- ア 学校生活全体を通じて、礼儀やマナーの指導を行い、社会性を高めることができた。しかし、交通マナーと歩きスマホについては来年度以降も継続して指導を続ける必要がある。
- イ 学年及び生活指導部が中心となり、遅刻指導にあたった。年間遅刻延べ回数が1420回と、前年度よりも40%増加した。1学年では朝8時30分着席を継続指導し遅刻数が減ったが、依然と

して、3年生2学期以降の遅刻数増加が顕著であり、対策が必要である。

ウ 部活動の下校時間厳守の徹底を図ったが、まだ徹底できていないので来年度の課題である

エ 学習活動・部活動・学校行事において、生徒の主体性を育む指導を行った。

オ 儀式、始業式、終業式等の学校行事において、毎回校歌を斉唱することにより、学校への帰属意識や生徒・教職員間の連帯意識を高めた。

カ 水曜日や土曜日の午後を活用し、1年生の奉仕活動や部活動を単位として、地域行事に参加したり、近隣施設の清掃活動などを行い、奉仕や思いやりの心と公共心を育成した。

キ 1年生における宿泊防災訓練や2年生の救命救急講習において、自助・共助の精神を学んだ。

#### ④特別活動・部活動

ア 体育大会、清高祭などの学校行事を生徒の委員会中心に実施できた。特に、文化祭においては、早い段階から準備を進め、前年度以上に盛りあがりのある文化祭を開催することができた。今年度の反省点を踏まえ、次年度以降、担当者が代わっても引き継げる資料と体制を整えることが今後の課題である。

イ 生徒会活動を活性化させ、これまで実施してきた特別支援学校との交流などを継続するとともに、募金活動を行うなど自主的活動が増加した。

ウ 読書感想文コンクールや書評合戦に参加するなど、生徒の読書活動を推進してきた。生徒の読書活動定着に向けた取り組みを一層進めていくことが今後必要である。

エ スポーツ特別強化校の指定を受けているソフトテニス部及び少林寺拳法部の両部は活動の充実を図るとともに、他の運動部活動の活性化にも好影響を与えた。その成果が認められ、平成30年度より継続して3年間の再指定を受けた。全国大会へはソフトテニス部、少林寺拳法部、ダンス部、写真部、美術部が進出を果たした。特に、男子ソフトテニス部においては、東京都において60年ぶりとなる団体優勝を勝ち取り、個人と団体においてインターハイ出場を果たすことができた。その他、12部が都ベスト32以上の成果を上げた。

オ 校長と全部活の部長、キャプテンとの面談を実施し、部活動と学習の両立や礼儀や規律を重んじる学校生活の励行、地域貢献等について話をした。生活指導部等が中心となって、部活動への加入促進を行った結果、平成28年度より2%増の98%という高い加入率となった。

カ 文化・スポーツ等特別推薦を男女ソフトテニス、女子バレーボール、野球、少林寺拳法で実施し、部活動の活性化を図った。特別推薦での入学生徒の多くは、学業にも努力し、一定の成果をあげている。

#### ⑤健康・安全

ア 保健委員会がトイレの使用マナーに関する掲示の作成やトイレの洋式化に関するアンケートを実施するなど、保健・環境・美化に関する取り組みを今まで以上に生徒が主体となって行う体制を整えることができた。

イ スクールカウンセラーによる1年生全局面接を1学期に実施し、心身の健康に課題のある生徒を早期に発見することができた。学級担任、養護教諭、スクールカウンセラーが緊密に連携し、生徒、保護者の相談に応じることができた。

ウ 職員室や各準備室の環境美化やごみの分別については教職員が率先して行い、生徒への環境保全についての啓蒙を行った。

エ 老朽化した施設・備品の補修を引き続き行ってきた。不要物の撤去、廃棄を促進し、生徒の教育活動に活用できる場所を拡大した。

オ 薬物乱用防止教室、セーフティ教室、救急救命講習会等を活用し、命の大切さを考えさせた。

#### ⑥広報活動

ア 昨年度までは部活動の大会実績などを積極的に更新してきたが、今年度は「校長のひとり言」「図書館だより」など情報等を加え、できるだけ毎日見てもらえるようにホームページの更新を行った。

イ 総務部が中心となり、広報活動を推進し、学校説明会や学校見学会などの年間来校者数が、2725名（前年度2500名）と大幅に増加した。平成30年度は学校説明会を2回から3回に、個

別相談会を1回から2回に増やす予定である。

ウ 今年度から塾訪問を始め、387塾訪問し、清瀬高校の素晴らしさをアピールした。

エ 地域の小学校において剣道部と茶道部が小学生に授業を行ったり、複数の部活動が、中学校と合同練習を行うなど、地域連携を図れた。

#### ⑦学校経営について

ア 2月に「もっと清瀬高校を良くしよう委員会」を立上げ教育活動の改善を始めた。

イ 企画調整会議の内容の周知が徹底できないことがある。継続した課題である。

ウ 主幹教諭会議を定期的に開催し、組織的・継続的な学校運営が図れた。特に宿泊行事の日程・場所の統一が図れた。

エ 中学生向けの学校説明会や学校見学会に企画室職員も携わり、学校が一体となって広報活動に取り組むことができた。今後、企画室職員の学校経営参画分野を拡大することが課題である。

オ 外部での研修や主幹教諭会議等を活用し人材育成が図れた。

カ 研修会などを通し、組織的に体罰防止、服務事故防止及び個人情報の管理に取り組んだことで意識を高めることができ、事故が発生しなかった。

キ 太陽光発電設備を活用しながら、節電・省エネルギーを学校全体に意識させることができた。

ク あじさいウィーク、学校施設開放、公開講座も無事実施でき、地域との交流も推進することができた。

## 2 重点目標と数値目標 ( ) 内数値はH28実績

### ①学習指導—組織的、計画的な教科指導の充実

ア 1、2年生の自学時間：1日の平均1時間30分以上（1年1時間14分 2年1時間42分）

【今年度】1時間27分

（1年1時間23分 2年1時間30分）

イ 授業満足度：85%以上（83, 1%）

【今年度】66, 6%

ウ 長期休業中の開講講座数：80講座以上（65講座）

【今年度】76講座

### ②進路指導—国公立、私大難関大学等第一志望校への進学実績

ア 国公立、難関私立大学現役合格者数：12名以上（9名）

【今年度】10名

イ GMARCH現役合格者数：90名以上（78名）

【今年度】66名

### ③生活指導—自律した生活習慣の確立

ア 生徒の学校生活満足度：90%以上（87, 3%）

【今年度】81, 7%

イ 交通事故件数：0件

【今年度】0回

ウ 年間遅刻者数：900回以下（1005回）

【今年度】1420回

### ④特別活動・部活動—気力、体力の充実と向上及び学習と部活・行事との両立

ア 図書貸出数：2100冊（1385冊）

【今年度】1517冊

イ 部活動参加者数：98%以上（96%）

【今年度】98%

ウ 部活動都ベスト32以上の成果：10部（9部）

【今年度】12部

### ⑤広報活動—清瀬高校の教育活動、魅力を広く紹介するための広報活動の充実

ア ホームページ更新回数年間：120回

【今年度】156回

イ 学校説明会参加者数：2700人（2560人）

【今年度】2725人

ウ 入試倍率：推薦3,00倍以上（2,81倍）

【今年度】2,76倍

一般1,40倍以上（1,32倍）

【今年度】1,32倍